

▷ 香川用水水口祭(6月11日)

三豊市

■ 6月11日 香川用水記念公園



田植えシーズンが本格化するのを迎えて、香川用水の豊かなめぐみを祈って開催される祭で、吉野川の水が香川県に最初に姿を見せる水口である香川用水東西分水工で、毎年6月11日に開催されます。神事に引き続いて香川用水に御神酒(おみき)をささげると、高さ約5Mの噴水が勢いよく吹き出し、その後、豊作を祈って財田の鰻(くわ)おどりや太鼓などが祭の雰囲気盛り上げます。

なお、一般的な水口(みなくち)祭りとは、苗代に種もみをまく日に行う行事です。水口は田への水の取り入れ口で、神聖な場所であり、水口に切った稻わらを束ねたものを置いたり、土を盛って、午王(ごおう)というお札を立て、種もみの残りにつくった焼き米や、季節の草花を供えていました。現在でも、水口に種もみの残りや実のよくなる草花を供えた水田を見ることができます。

ます。